



11 教育目標・学校評価	学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のための工夫をしている。	概ね肯定的な評価になっています。これからもより一層児童の実態や課題を把握し、共通理解のもと教職員一丸となって、児童が有意義な学校生活を送れるよう指導にあたっていきます。そのために、学校運営や教育活動に関わってくださる家庭や地域の方々と連携を密にするとともに、学校運営協議会を通していろいろな情報交換を行いながら、よりよい教育活動に努めていきます。
12 情報提供、保護者・地域住民との連携	学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。	学校の取組に対して保護者の肯定的な評価が多くみられました。学校と家庭・地域が連携してこそ、教育の効果は高まると考えています。保護者や地域の方々に学校の教育活動について理解が得られるように、取組や児童の様子などについて情報発信するだけでなく、感染症対策を講じながらも学校の様子を伝えられる方法を検討します。
<p>【学校運営協議会からの意見及び改善案】</p> <p>①授業参観や懇談会等保護者や学校運営協議会のメンバーが学校へ来る機会をもっと多く設けてほしい、これらが少ないことが、保護者による評価に「わからない」という回答が多くある一因ではないだろうか。</p> <p>②「おやじの会」を復活させたい。学校に関わるボランティア団体の名称は社会情勢に配慮しつつ慎重に決めたい。メンバーの性別に限られるようなものではなく、入りやすいイメージがよい。</p> <p>③学校にボランティア活動で関わる人たちは賑わってはいない。学校に関わる活動に関わると「得をする点がある」という面もあると思う。</p> <p>④PTA活動は母親だけ、父親だけという形ではなく、親・祖父母が交代交代で関わるような形もよいのではないか。</p> <p>⑤(PTA加入の任意性に關連して)自治会も加入しない人が珍しくない。70代でも働く時代であることだし、しかしながら若い人も関わりたいと思う人はいると思う。</p> <p>⑥(某私立女子校では)おやじの会がよく活動してくれて助かっていた。</p> <p>⑦PTA会長は男性で、それ以外のメンバーは女性が多かった。</p> <p>⑧(新型コロナウイルス感染症対策のためにマスクを着用する日々が続いたことから)学校に来る機会が減った他にも、わが子の担任の先生の顔がわからない。子どもたちもお互いの顔を知らない。PもTもC(子どもたち)も顔を知らない。学校によく来るPTA役員になっても、今は「顔パス」が効かない(顔を認識されていないから)ことが残念。PTAの役員が朝会等で児童の前で紹介される機会をつくれませんか。</p> <p>⑨市P連の「市長と語る会」で「コミスクの回数を増やしてほしい」といったら「(そうする手立てを)あなたが考えてください」と言われた。</p> <p>⑩コミスクについてのアンケートが来たが、コミスクの回数が少なすぎて何をどう答えてよいかわからない。</p> <p>⑪(学校へ関わることについて)自分から要求や行動をしていくべきか、学校から声をかけられるのを待つべきか。以前、コロナのために消防署見学ができなかったとき、3年生児童を相手に「消防署・消防団の話」をした。普段味わえないような授業を提供したい。また、消防団の団員募集にもなる。親子で(PTA活動の一環として)AEDの使い方を学んで、のちに役に立ったという例もある。</p> <p>⑫コーディネーターの役割は…天台小学区の地域の活性化。学校はそのツールの一つであり、会場提供してもらったり、運営組織の一部となったりする。</p> <p>⑬外国籍の人たち…自治会に加入しない。外国籍の方たちにこそ、学校運営協議会に入ってほしい。一過訳を確保できるか。宗教的理由で女性あまり表に出ない人たちもいる。ほっとせず何かできることを。</p>		